

キャンペーン

2025 年世界エイズデー



崩壊の危機を乗り越え、エイズ対策の変革を - 2025 年世界エイズデー

2025 年の世界エイズデー（12 月 1 日）のテーマは「崩壊の危機を乗り越え、エイズ対策の変革を」です。

国際援助資金の削減は確かにエイズ対策に深刻な影響を与えています。だが、このことは同時にこれまでの成果を守り、HIV 対策を進めるために立ち上がる各国およびコミュニティの回復力を示す重要な機会でもあるのです。

歴史に残る 2025 年資金危機によって、数十年にわたり積み上げてきた成果が覆される危機が訪れています。HIV 予防サービスの混乱は深刻です。社会から排除されがちな人たちへの支援に不可欠なコミュニティ主導のサービスの優先順位は低下しています。同性間の関係や性自認、薬物使用を犯罪とみなす懲罰的な法律が拡大して危機を深刻化させ、HIV サービスの利用がますます困難になっているのです。

世界のエイズ対策はこの数カ月の間に大きく変化しました。しかも、2030 年までのエイズ終結という SDGs 目標の達成には、まだ多くの課題が残されたままです。エイズは終わっていません。拡大リスクを減らし目標を達成するには、新たな変革的アプローチが求められています。

各国は HIV 対策とその資金確保のあり方を抜本的に変えなければなりません。ただし、世界の HIV 対策を国内資金源だけに頼ることはできないのです。国際社会は資金不足の解消に取り組まなければなりません。HIV の予防と治療のサービスにおける未解決の課題を各国が解消できるようにする必要があります。力を合わせて法的、社会的障壁を取り除かなければなりません。コミュニティ主導で成果を達成できるようコミュニティを力付ける必要があります。

構造的な不平等を打破し、弱い立場の人たちをまもるための政策を進めるには、政治のリーダーシップが不可欠です。HIV サービスへのアクセス改善、スティグマと差別の解消、そして医療に関する不均衡な障壁にいまなお直面する女性、女兒、LGBTQ+ の人たちの権利を確実に保護するには、変革的な解決策が必要です。

「危機の時代を選ぶべきは、後退ではなく変革です」と UNAIDS のビヤニマ事務局長は語っています。「緊急性と結束、そして変わらぬ決意のもとに行動すれば、2030 年までに公衆衛生上の脅威としてのエイズ終結はまだ可能なのです」

世界エイズデーに向けて、2030 年までにエイズ終結を果たすために、持続的な政治のリーダーシップと国際協力、人権中心のアプローチをともに呼びかけていきましょう。

（仮訳：公益財団法人エイズ予防財団）